

地下鉄名港線六番町駅の概要 (1) 地下鉄路線図

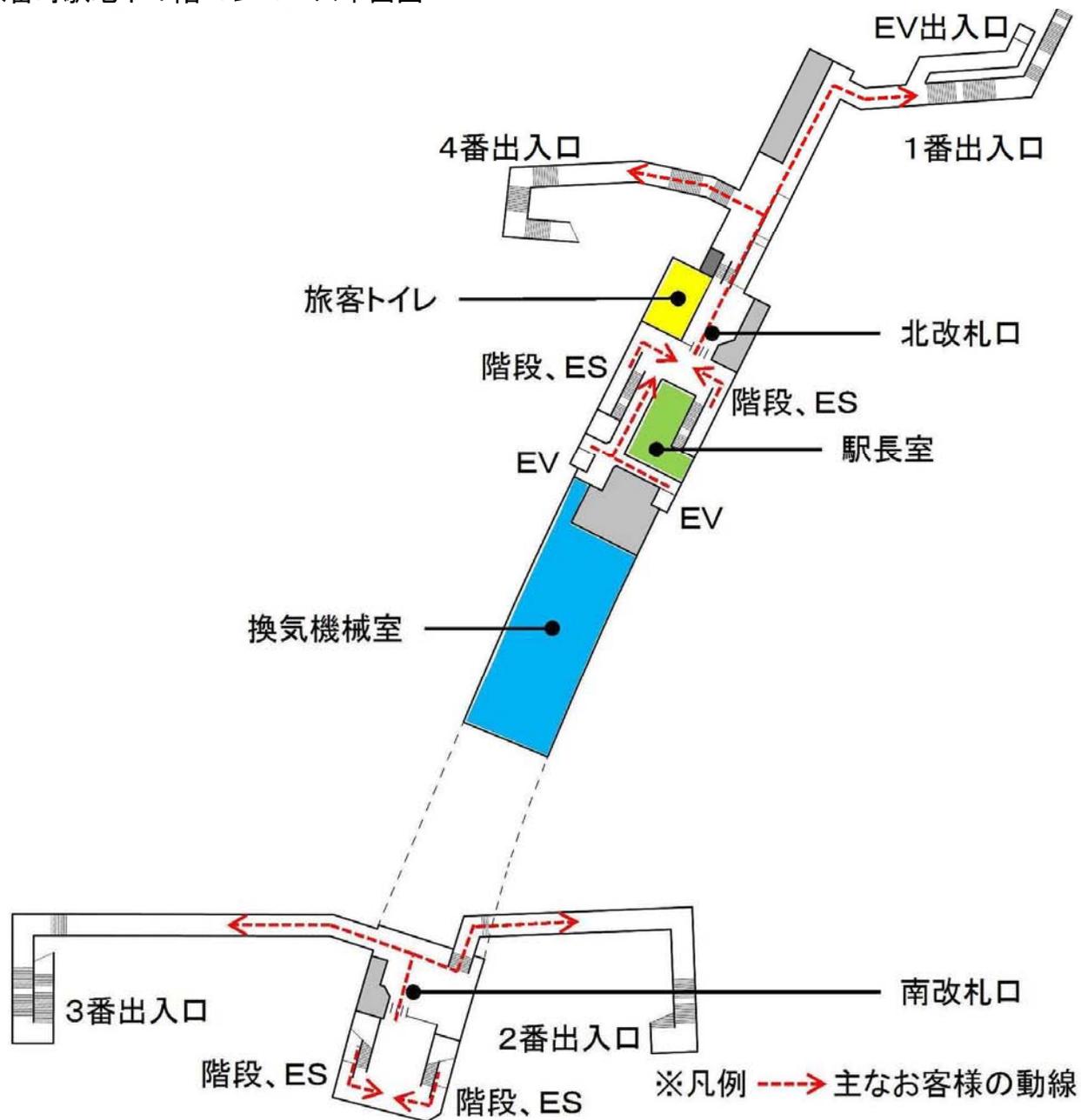


地下鉄名港線六番町駅の概要 (2) 駅配置図

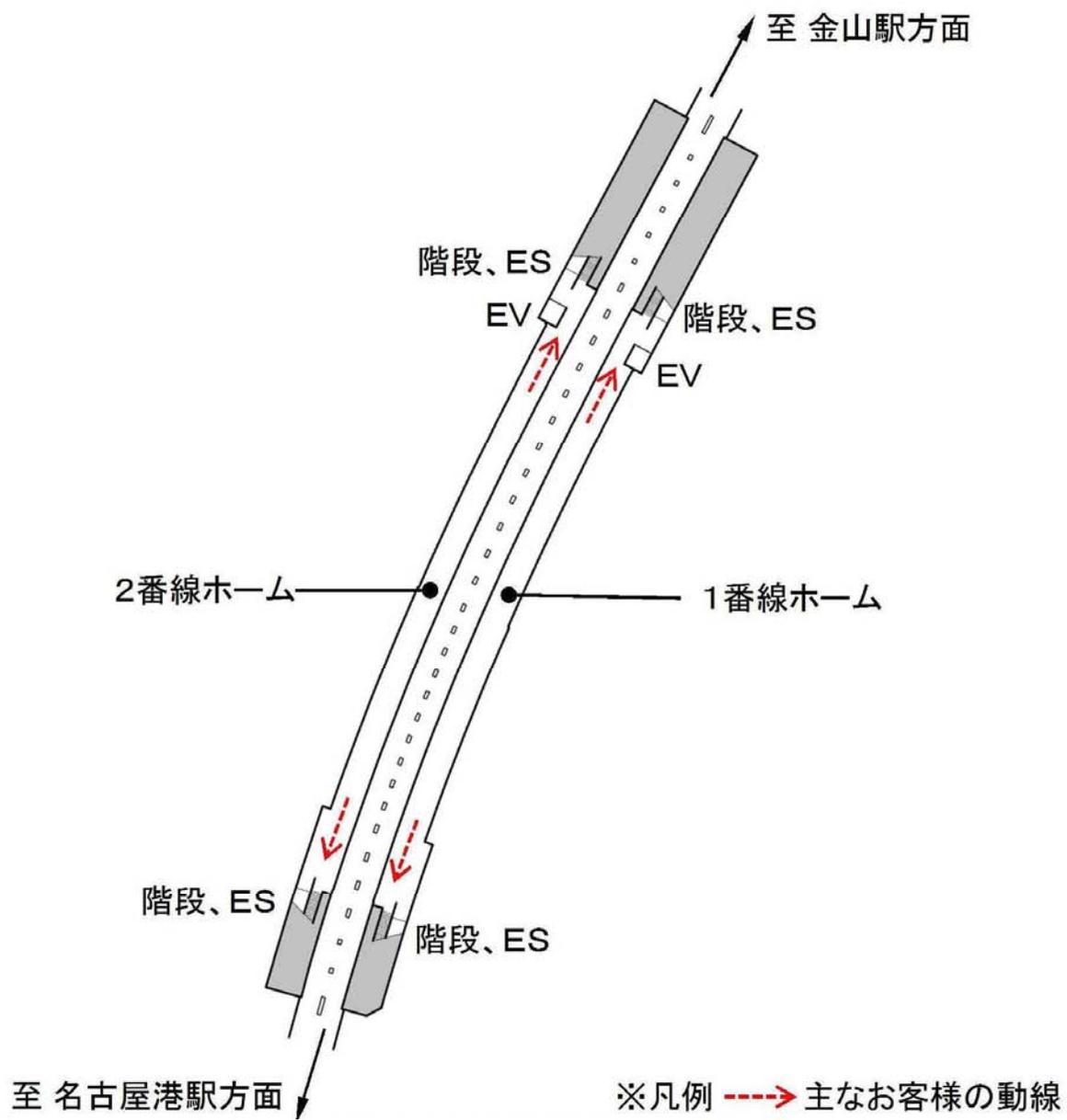
住所: 名古屋市熱田区四番一丁目10番12号



六番町駅地下1階コンコース平面図

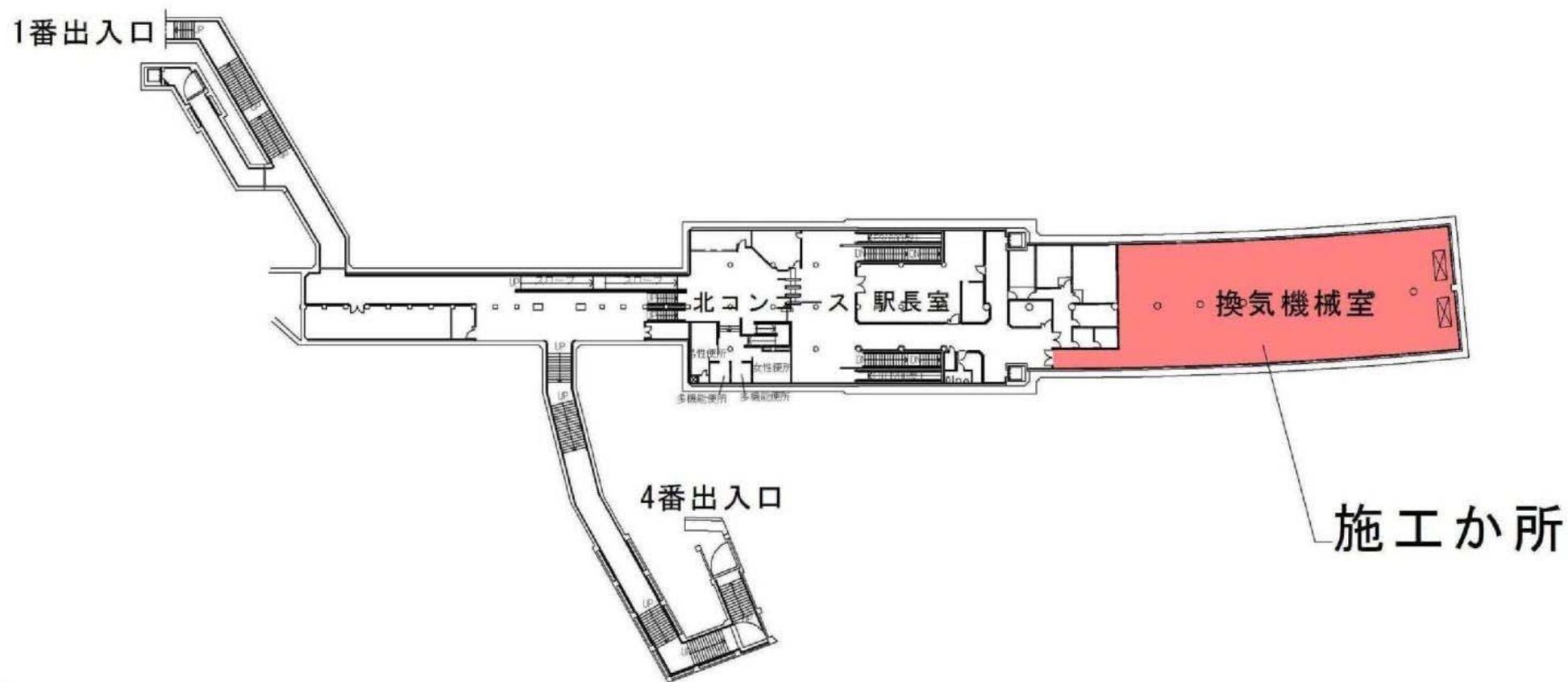


六番町駅地下2階プラットホーム平面図



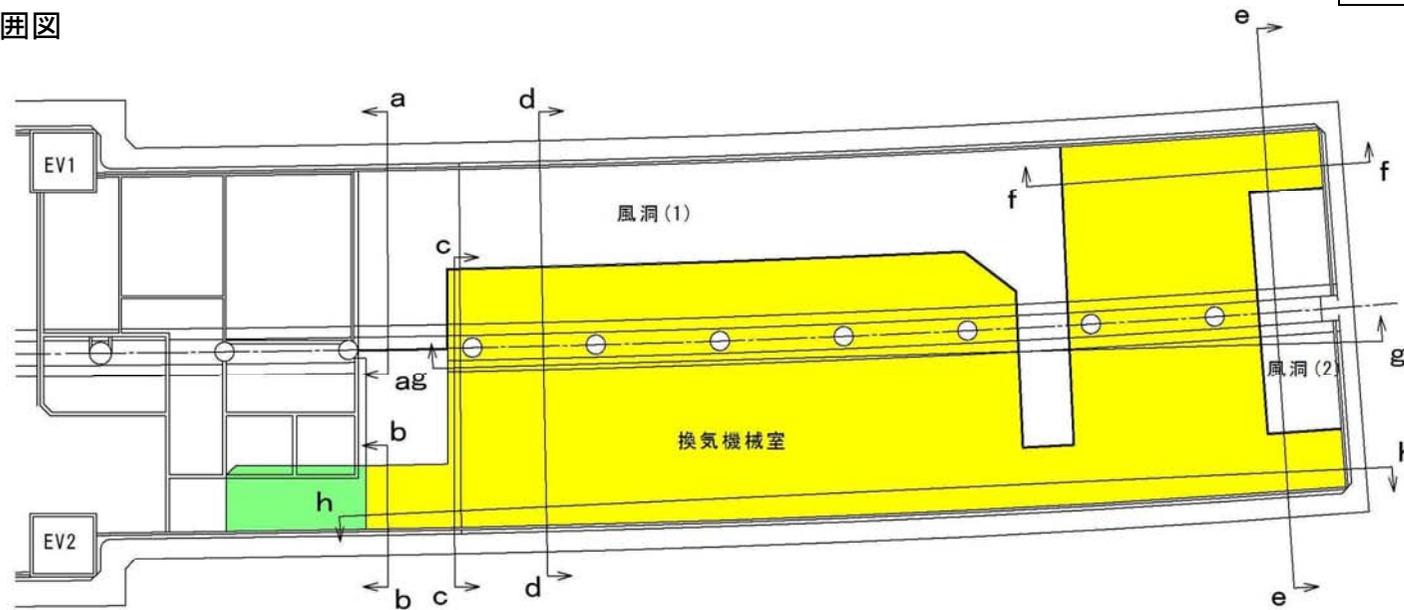
工事の概要 工事施工か所平面図

工事件名	六番町駅換気機械室石綿含有吹付け材撤去工事
受注者	ライフテック・エム株式会社
工期	平成 25 年 11 月 2 日～平成 26 年 6 月 30 日
契約金額	8, 8 9 3, 5 0 0 円

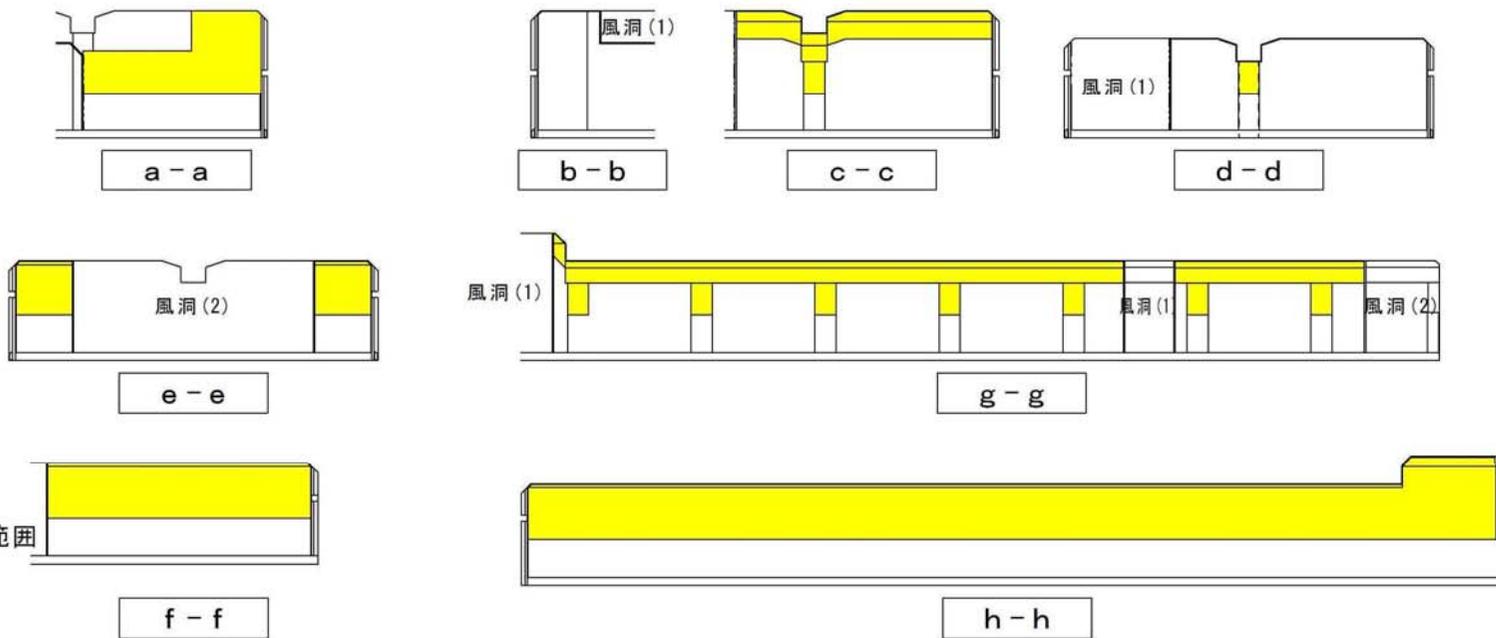


石綿含有吹付け材除去範囲図

天井伏図



展開図



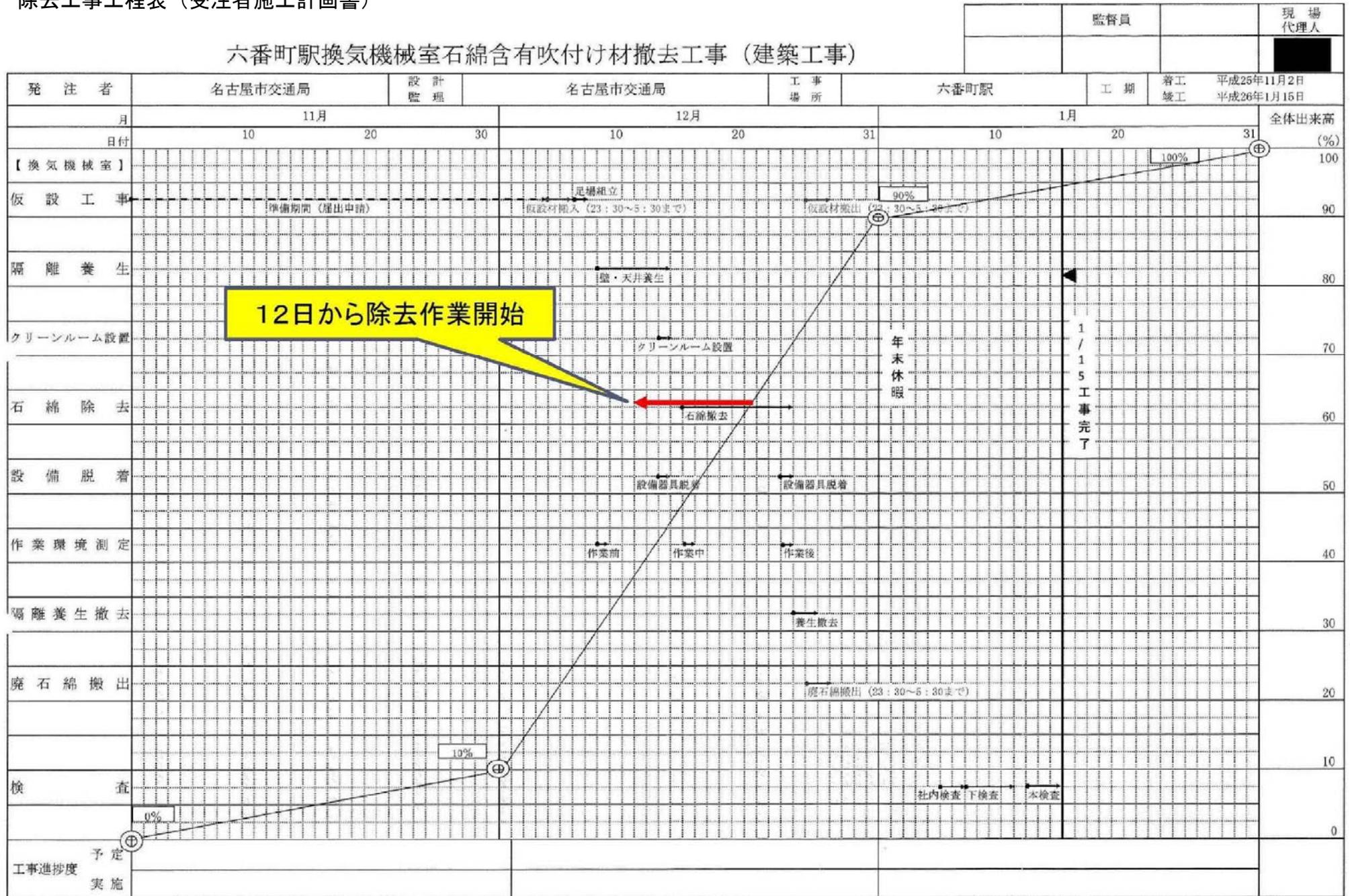
前回除去工事範囲

除去工事範囲

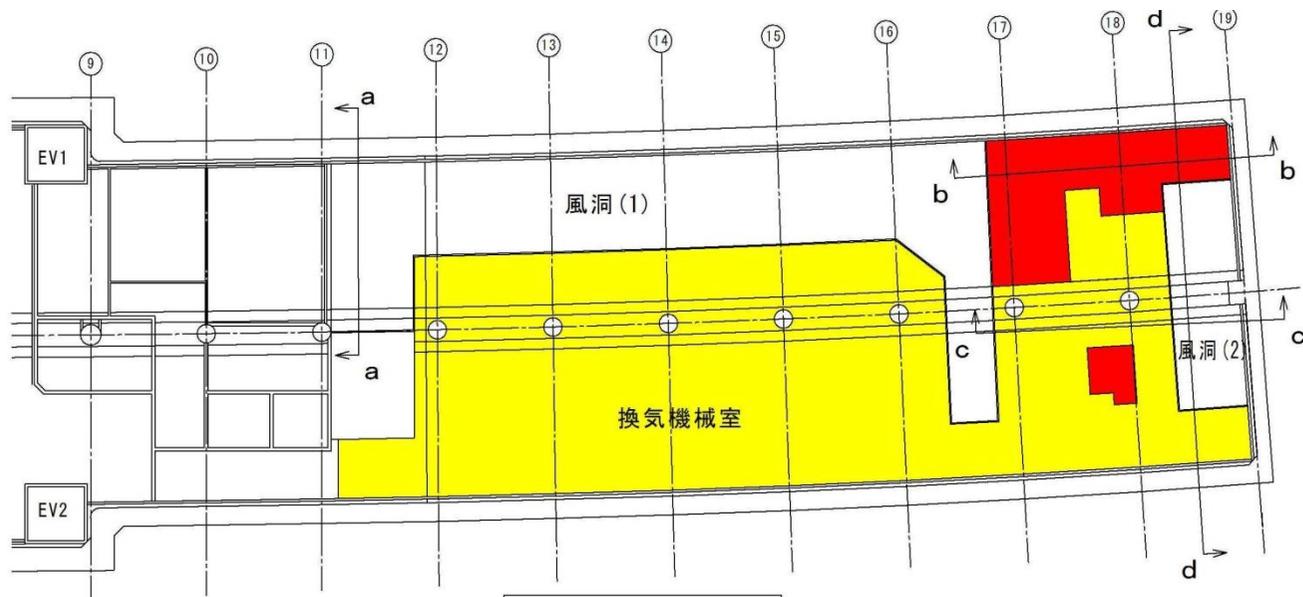


除去工事工程表 (受注者施工計画書)

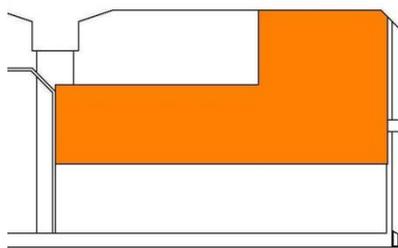
六番町駅換気機械室石綿含有吹付け材撤去工事 (建築工事)



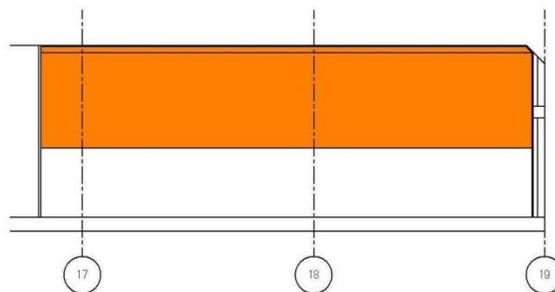
除去済み範囲図



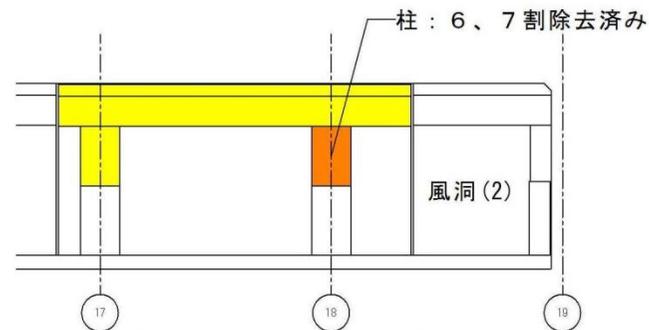
天井伏図



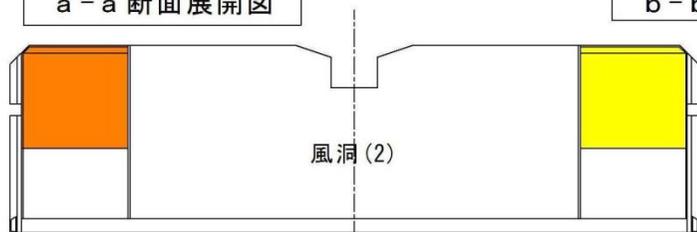
a-a 断面展開図



b-b 断面展開図



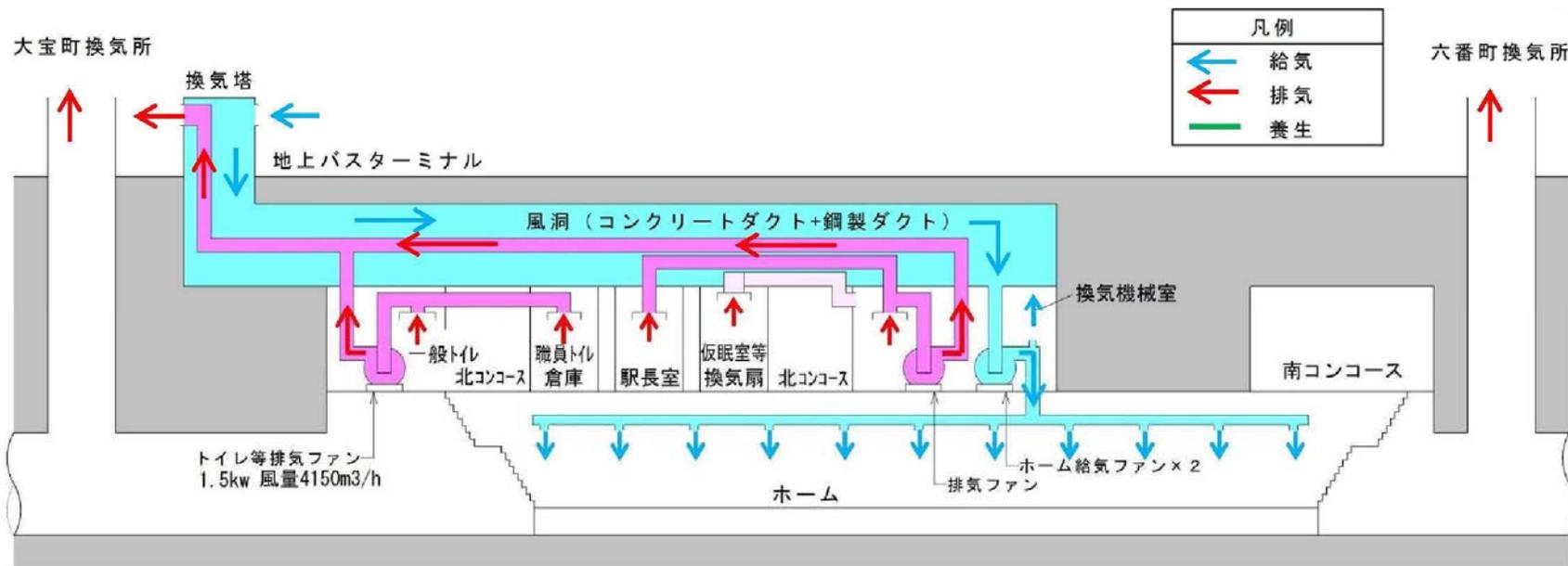
c-c 断面展開図



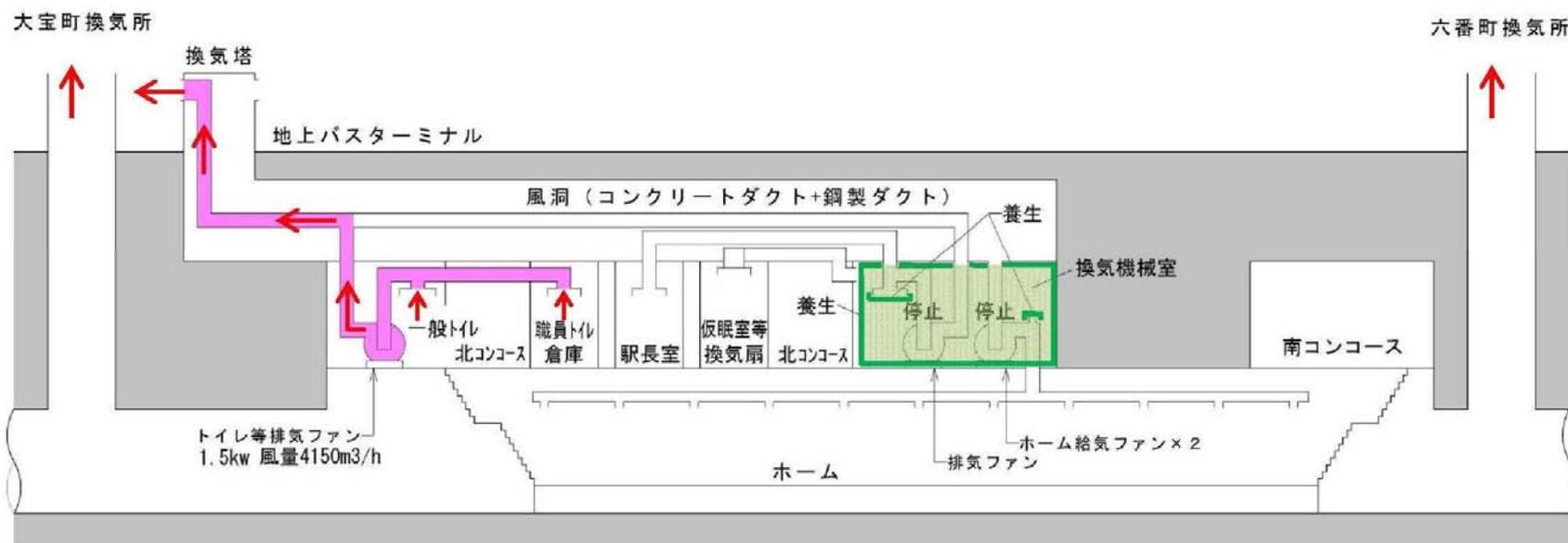
d-d 断面展開図

- 天井面：平成25年12月12, 13日の石綿含有吹付け材除去範囲
- 壁面：平成25年12月12, 13日の石綿含有吹付け材除去範囲
- 石綿含有吹付け材除去予定範囲

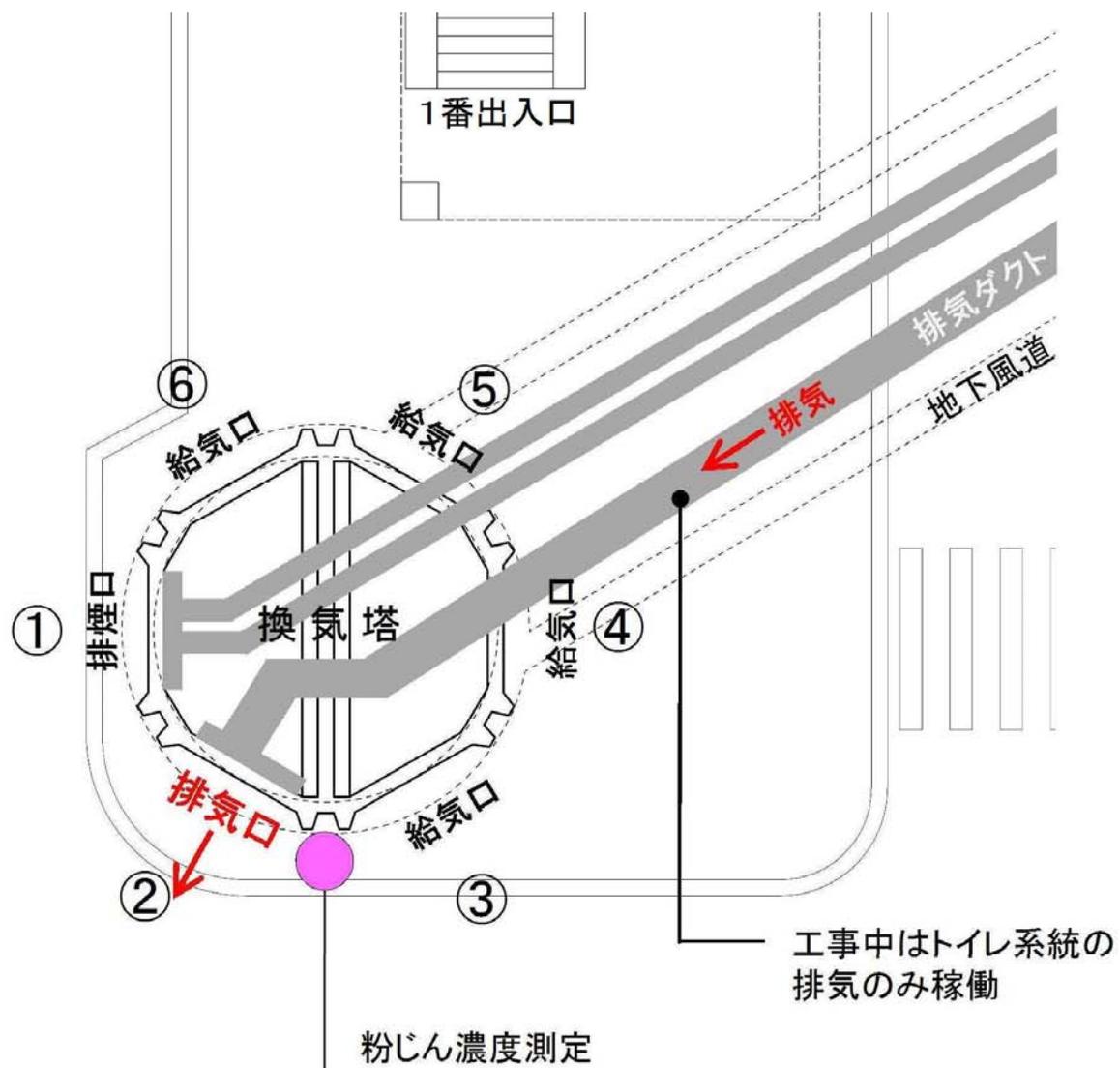
換気系統図



六番町駅換気系統図【通常時】



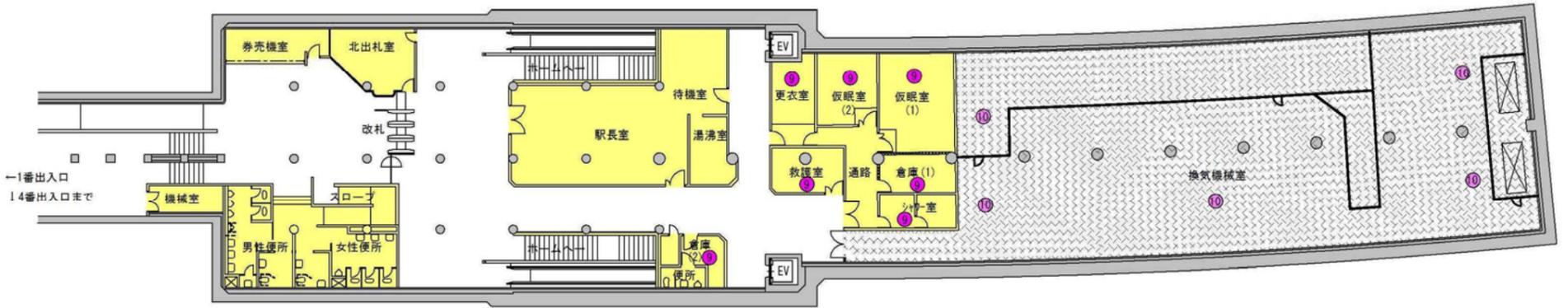
換気塔の空気の流れ図



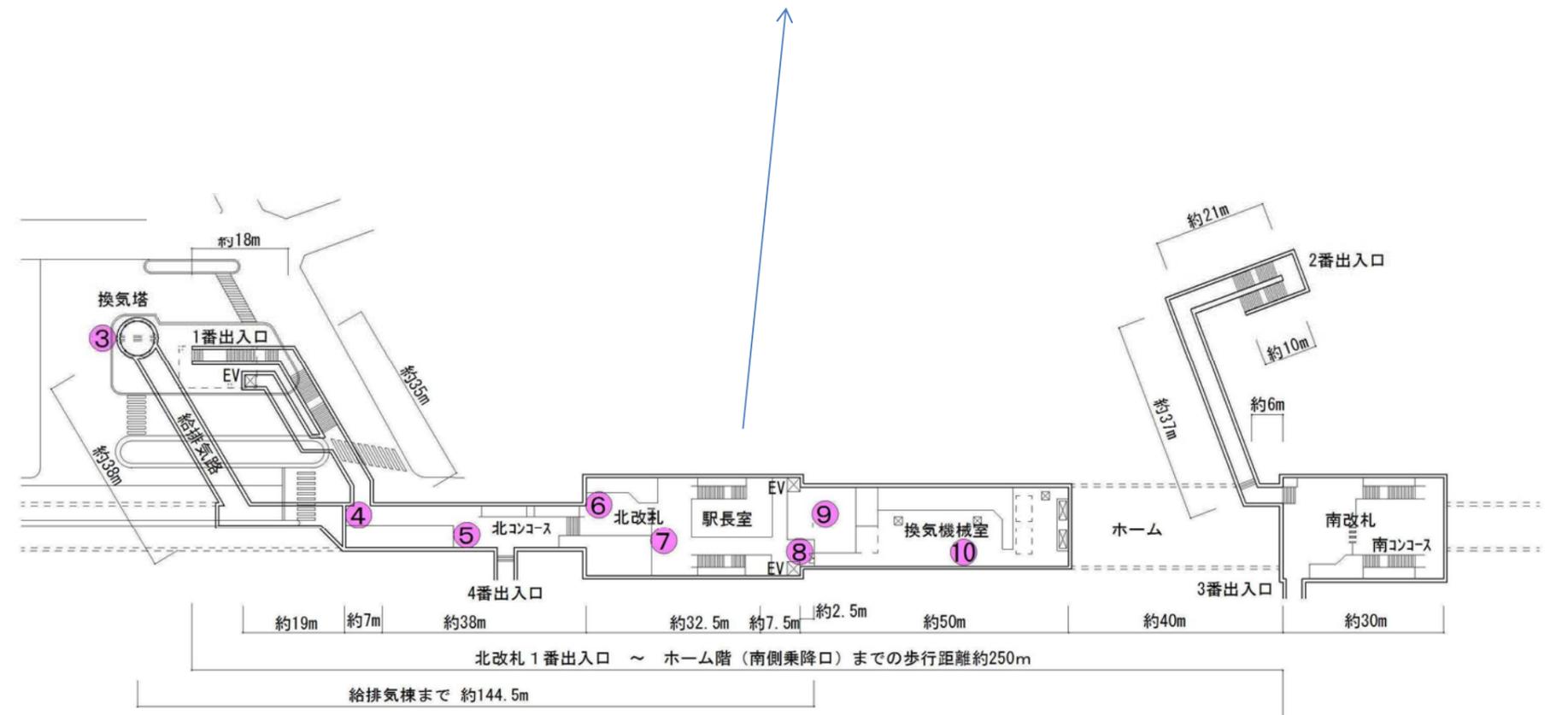
地上平面図



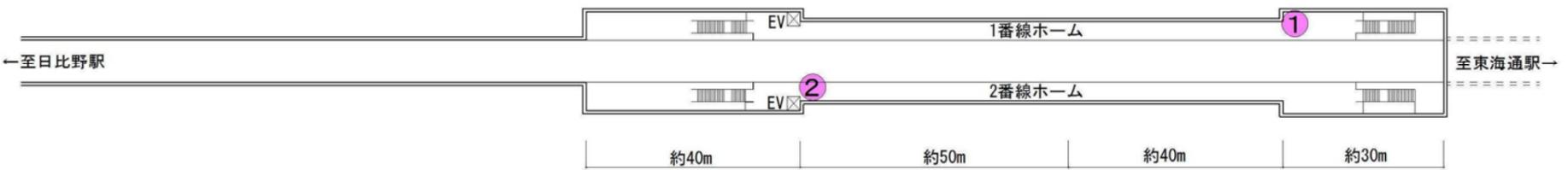
粉じん濃度測定位置図



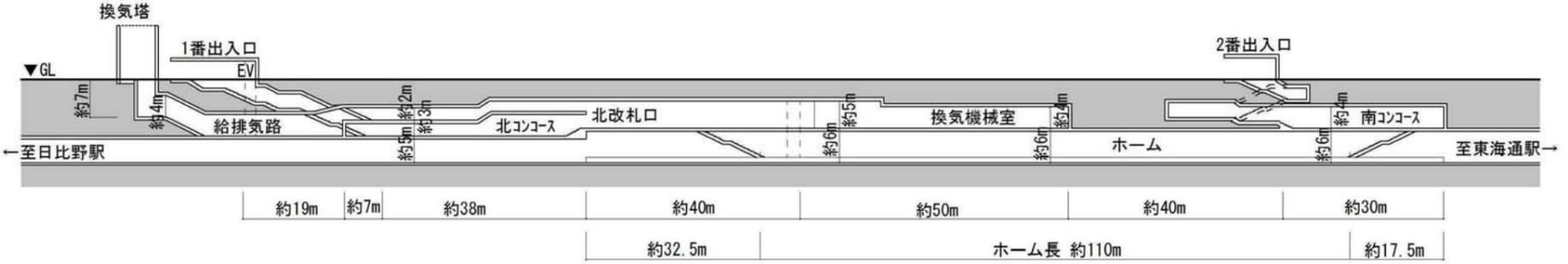
駅長室付近平面図



六番町駅地下1階平面概略図



六番町駅地下2階平面概略図



六番町駅断面概略図

総繊維数濃度・アスベスト濃度測定結果一覧

単位 (本/L)

事 項		測定値等										測定者 ※4	負圧装 置稼働 帯※3	
		1番 ホー ム	2番ホ ーム	換気 塔	1番 通路	北コ ンコ ース	北コ ンコ ース	北改 札内	機械室 扉前	仮眠 室等 諸室	換気 機械 室			
月 日	時刻	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩			
12月9日～ 作業前		—	—	0.5未満	—	—	—	—	0.5未満	—	0.5未満 6か所	施工業者		
12月12日	8:30～	負圧装置運転開始												
	9:15～10:15	—	—	2.5 (4.0)	—	—	—	—	700 (1,100) ※5	—	—	港保健所	↑ ↓	
	～18:00	負圧装置運転停止												
	18:00～8:30	負圧装置運転停止期間												
12月13日	8:30～	負圧装置運転開始												
	15:10～16:03	—	—	—	—	—	—	—	100 (110)	—	—	港保健所	↑ ↓	
	15:05～16:05	—	—	0.22	—	—	—	—	—	—	—			
	～15:50頃	負圧装置運転停止												
	16:05～17:05	—	—	—	—	—	—	—	4.0 (6.5)	—	—	港保健所		
	16:10～17:10	—	—	0.22 未満	—	—	—	—	—	—	—			
	18:30～19:30	—	—	—	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	—	—	施工業者		
12月16日	9:45～10:45	—	—	0.22未満	—	—	—	—	—	—	—	港保健所		
	9:50～10:50	—	—	—	—	—	—	—	0.22	—	—			
12月24日	9:35～10:35	—	—	0.22	—	—	—	—	—	—	—	港保健所		
	9:40～10:40	—	—	—	—	—	—	—	0.22未満	—	—			
1月9日	16:10～17:10	—	—	0.22未満	—	—	—	—	—	—	—	港保健所		
	16:20～17:20	—	—	—	—	—	—	—	0.22	—	—			
1月22日	13:20～14:20	—	—	0.22	—	—	—	—	—	—	—	港保健所		
	13:25～14:25	—	—	—	—	—	—	—	0.22未満	—	—			
	14:30～15:30	—	1.0未満 (0.67)	—	—	—	—	—	—	—	—			
	14:40～15:40	1.0未満 (0.22未満)	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
2月5日	13:23～14:23	—	—	0.22	—	—	—	—	—	—	—	港保健所		
	13:29～14:29	—	—	—	—	—	—	—	0.22	—	—			
2月6日	21:06～23:06 等	—	—	—	—	—	—	—	—	0.5未満 8か所	—	交通局※1		
2月19日	13:40～14:40	—	—	1.0未満 (0.67)	—	—	—	—	—	—	—	港保健所		
	13:50～14:50	—	—	—	—	—	—	—	1.0未満 (0.45)	—	—			
3月7日	21:18～23:18	—	—	—	—	—	—	—	0.5未満	—	—	交通局※2		
3月8日	2:38～3:38	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
3月11日	0:54～4:08等	—	0.5未満	0.5未満	—	—	—	0.5未満	—	—	—			
3月13日	18:05～20:05	—	—	—	—	—	—	—	0.5未満	—	—			
3月21日	1:07～4:08等	—	0.5未満	0.5未満	—	—	—	0.5未満	—	—	—			
4月16日	9:55～10:55	—	—	—	—	—	—	—	0.22	—	—	港保健所		
	11:00～12:00	—	—	0.45	—	—	—	—	—	—	—			

註記： ※1 2月6日の測定箇所8か所は 駅長室、更衣室、仮眠室(1)、仮眠室(2)、倉庫(1)、倉庫(2)、シャワー室、救護室  
 ※2 六番町石綿含有吹付け材飛散調査に係る石綿分析他業務調査時の測定結果を示す  
 ※3 負圧装置の稼働時間は、石綿取扱い作業実施記録等による。  
 ※4 港保健所の測定結果は、環境科学調査センターの測定報告書による。  
 ※5 報道発表時の値は速報値であり、総繊維数濃度は1,000本/L、アスベスト濃度は710本/L。

□ は、総繊維数濃度を示す。

■ は、アスベスト濃度を示す。( )内は総繊維数濃度

## 飛散に係る対応（時系列）

12 月	9 日 (月)		作業前の粉じん濃度測定結果 8 か所全て 0.5 未満 (本/L)
	11 日 (水)	16:00～ 16:30	立入検査 (養生、集じん機確認) [港保健所]
12 日 (木)		8:30	湿潤剤散布 (～11:30 まで) ＜石綿取扱い作業実施記録より＞
		9:15～ 10:15	2 箇所 (機械室前、換気塔下) で試料採取① [港保健所]
		11:30	除去作業開始 (～16:30 まで) ＜石綿取扱い作業実施記録より＞
		18:00	負圧機稼働及び終了確認 ＜石綿取扱い作業実施記録より＞
13 日 (金)		8:30	湿潤剤散布 (8:30～9:40) 除去作業 (9:30～10:30) ＜石綿取扱い作業実施記録より＞
		10:10	環境科学調査センターから速報値の連絡 (総繊維数①) 機械室前…1,000 本/L、換気塔下…4 本/L 施工業者に電話連絡、工事停止を指導 [港保健所]
		10:30	清掃・袋詰 (10:30～14:30) ＜石綿取扱い作業実施記録より＞
		10:40	現場で工事停止の確認 [港保健所]
		10:45	環境局より交通局へ通知
		11:10	施工業者の差圧計、スモークテスターで負圧の確認 施工業者に内部の様子の写真撮影を依頼 [港保健所]
		13:45	クロシドライト (青石綿) 710 本/L 検出 (機械室前、速報値)
		15:50頃	負圧装置停止
		16:00頃	機械室扉の目張りを実施
		18:00	コンコースの一部を立ち入り規制 [交通局]
		18:30～ 19:30	駅構内 5 か所で粉じん濃度測定② [交通局]
		19:00	・施工業者に対し指導書を渡し、作業中止、原因究明及び改善 計画書の提出を指導 ・エレベーター付近の立入制限の状態を確認 [港保健所]
		20:56	駅構内 5 か所の分析結果② 全て 0.5 未満 (本/L) [交通局]
14 日 (土)	始 発	1:10	清掃完了、立ち入り規制解除 [交通局]
			平常通り営業

## 飛散に対する問い合わせの件数と主な内容

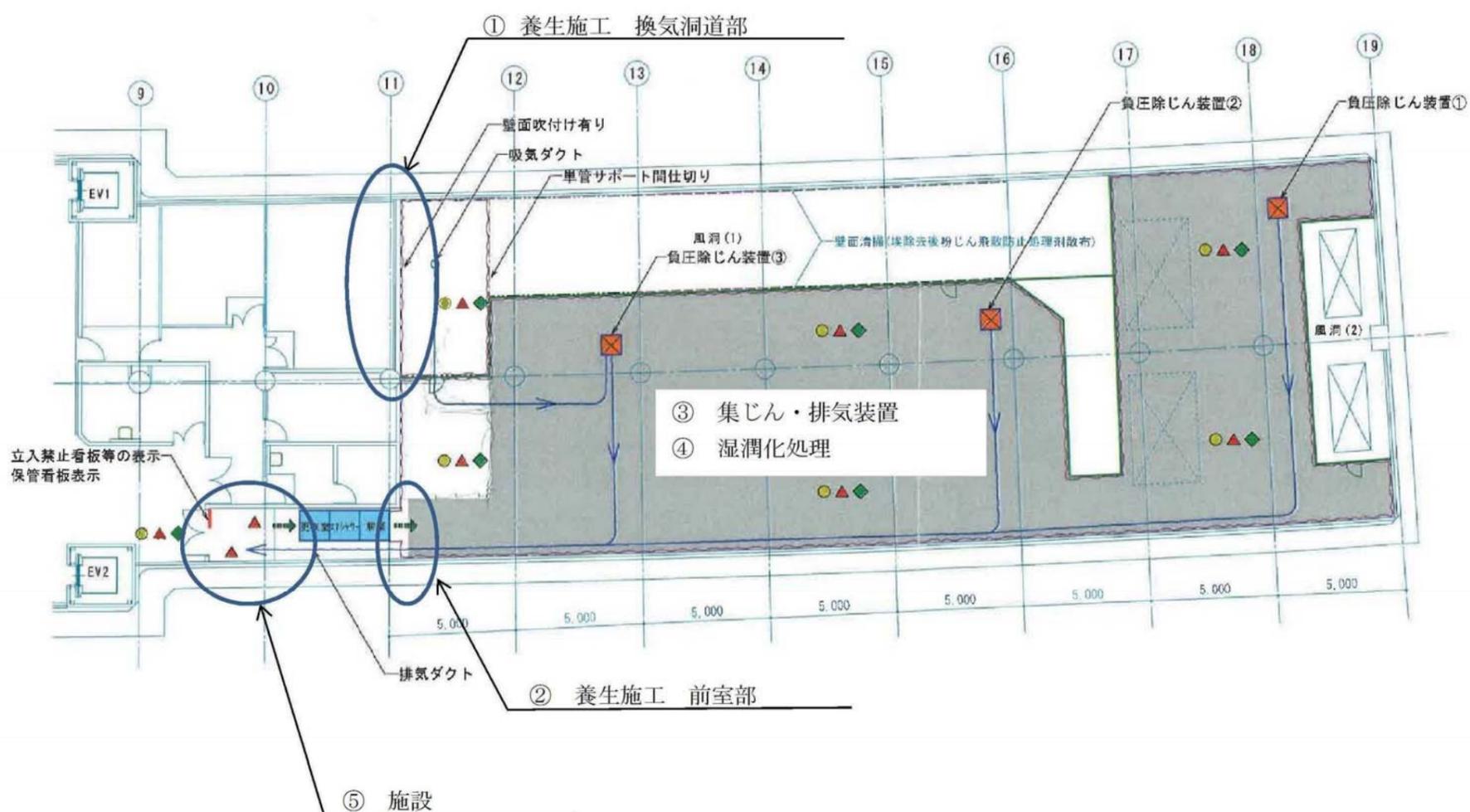
(単位 件)

問い合わせ件数		42
内 容	飛散の場所や日時	34
	健康被害や相談先	7
	今後の周知方法	4
	健康被害の補償	3
	その他	9

- (注) 1 平成26年5月9日現在の状況です。  
2 複数の内容を問われた場合もあるため、内容の件数の合計は、問い合わせ件数と一致しません。

飛散原因の調査結果（中間報告）

図番	調査項目		調査結果
	調査対象	確認事項	
①	養生施工	換気洞道部	<ul style="list-style-type: none"> <li>換気洞道部及び前室部において、区画の一部剥離を確認した。</li> <li>剥離時期が不明なため、事故との関連について判定は不能である。</li> </ul>
②		前室部	
③	集じん・排気装置	作業場内の負圧状況。	<ul style="list-style-type: none"> <li>3台の集じん・排気装置の排気を1本にまとめており、1台分の排気量しか機能せず、負圧不足の状態であった。</li> <li>スモーク・テスタにより、機器本体の隙間から空気の流入を確認した。</li> <li>疑似粉じん（ベビーパウダー）を吸引させ、HEPAフィルタ取付け部の隙間からの漏れを確認した。</li> </ul>
		機器本体等の隙間の有無。	
④	その他 湿潤化処理	作業場内の拡散抑制措置状況。	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業場内に残存している空缶は1個であった。</li> <li>材料の搬出入及び使用に係る記録写真がなく、確認不能であった。</li> </ul>
⑤	施設	前室設置部で確認されたアスベスト塊の飛散への影響。	<ul style="list-style-type: none"> <li>はり及び腰壁の天端にアスベスト塊があることを現認した。</li> <li>付近の設備ダクト天端には無かった。</li> <li>集じん・排気装置の排気量が小さく、飛散につながった可能性は低い。</li> </ul>



換気機械室現場平面図



①



③



⑤